

【6年生の修学旅行】

5月10日(水)、11日(木)の2日間、6年生は広島方面へ修学旅行に行きました。

出発前には、自分たちで2日間のルールとマナーを決め、旅行中しっかり意識して過ごすことができました。前日に、啓成コミュニティの皆様「平和への誓い」の言葉や「ヒロシマの有る国で」の歌を聴いていただきました。また、戦争体験も話していただきました。身近な方からの体験談を聴いて事前学習をしてから、広島へと出発しました。

平和公園で行った「平和集会」の中の歌でも、周りで聴いていた外国人観光客の方から拍手をいただいたそうです。世界遺産の厳島神社、宮島水族館、みろくの里など、それぞれの場所でたくさんの思い出ができました。

6年生が修学旅行に出発する前には、各学年から応援メッセージが贈られました。一つの行事に対し、全校で応援するすてきなつながりを感じることができました。

【アルミ缶回収】

本校ではPTA活動の一つとして、アルミ缶を集めています。アルミ缶が集まると業者の方に回収していただき、PTAの特別会計にお金が入ります。回収場所は、職員室がある校舎の近く、米川沿いの機械室と灯油庫の間にあります。

※缶は飲み残しを捨て、きれいに洗ってください。

※回収袋に入れるときは、ビニール袋から出して入れてください。

ご協力をお願いします。

去る4月15日(日)に本校にて授業参観ならびにPTA総会を開催しました。授業参観には、300名近くの保護者・地域の方々にご来校いただき、生徒たちの授業の様子をご覧いただきました。改めて保護者、地域の方々のご期待の大きさとともに、教育に携わる私たち教職員の責任の大きさを痛感したところです。本当にありがとうございました。

さて、本年度が始まり2ヶ月が経とうとしています。4月に3年生が修学旅行、1年生が三瓶宿泊研修を無事成功させることができました。5月には2年生が、「自治」をスローガンに取り組んだ初めての吉備宿泊研修で、自主的に動く素晴らしい姿をたくさん見せてくれました。普段の授業にも生徒たちは落ち着いて取り組んでいます。これも、保護者・地域の方々のご協力のおかげと感謝しています。今後ともよろしくお願いします。

6月には、西部地区夏季総体が1日(木)から2週間にわたり行われます。吹奏楽部のサマープラスコンサートは18日(日)にあります。各部とも練習に熱が入っています。生徒達の頑張りを温かく見守っていただければと思います。



啓成校区の歴史散歩

亀尾八洲雄

米子の災害 ⑮

宗像土手は米子の住民を水害から護る為に造成されたのであるが、ひと度水がでると決壊して米子の町を泥沼と化した。宗像神社は約一千二百の陸橋の附近にあった。勝寺もその跡は残っており法勝寺電車の線路敷きより一ぱり前の法勝寺川の洪水によって流出して、現在の台地に移されたといわれる。宗像神社の前には「船つなぎ岩」といわれる高さ約八十の岩があったが、商事会社に建立された時、地下に埋められた。宗像氏が九州から海路この地に到着して住み付いたが、出雲族に追われて東北に逃れてそこに住みついたといわれる。その子孫の一人が版画家棟方志功だといわれる。「上安曇」(かみあずま)、「下安曇」(しもあずま)など海民族の「安曇族」(あぶみぞく)が始め隠岐に土着したといわれる。

ここで再びテーマの災害にもどりたい。

日野川の堤防が補強されたが、大正十二年七月、大正十四年七月、大正十五年七月といずれも堤防の決壊が生じているが、大正十四年七月四日は但馬地方の地震の影響で米子駅前広場に亀裂が入り、車尾の梅翁寺の墓石が二十基以上が倒壊した。

昭和九年九月二十一日にも洪水があった。十九日より降りはじめた雨が夜に入りて更にはげしくなり、翌日より強風も加わり、二十日には加茂川も六尺(約二米)増水して、午後八時半頃には米子市内にも流れ込み、低地の紺屋町・糀町・西倉吉町一帯は浸水して浸水家屋は約二千戸に及んだ。

